



# 2021 夏のおすすめ本 中学生

## 『わが家への道』

ローラ・インガルス・ワイルダー／作 谷口 由美子／訳 岩波書店  
1894年7月、ローラとアルマンソは幼い娘ローズをつれて、自分たちの土地を求めて馬車の旅に出ます。到着したマンスフィールドは、どこにも増して美しいオウザーク丘陵の一角でした。とても長距離の旅ですが、小旅行記としても楽しめます。ローラの日記を中心にまとめられています。

## 『未来をつくるあなたへ』

中満 泉／著 岩波書店  
軍縮、平和、環境、人権、格差、ジェンダーの問題など…。一見とっつきにくい課題について、国連の事務次長として活躍している中満泉さんが、若い世代に向けてわかりやすく書いています。グローバルな難しい課題ですが、私たちの身近な問題として考えるきっかけになる本です。中満さんの「世界は必ず変えられる」というメッセージとともに、地球の未来のため、世界の課題について一緒に考えてみませんか。

## 『だいじな本のみつけ方』

大崎 梢／著 光文社  
大好きな作家の新刊発売を楽しみにしていた野々香は、学校の手洗い場で忘れ物の本をみつける。それは、まだ発売されていないはずの最新刊だった。野々香は、同じクラスの図書委員の高峰秀臣と本の持ち主の正体と、どうやって手に入れたかを探り始める。軽めの謎解きも楽しめる賑やかな雰囲気の一冊。

## 『うしろの正面』

小森 香折／作 佐竹 美保／絵 岩崎書店  
12歳の夏、暁彦は一人旅をした。きっかけは「亡き父の幽霊が出た」という電話。はじめて父の実家がある羽護山村へ向かうことになった暁彦。そこで暁彦を迎えたのは、様子のおかしい親戚たち、不思議な館…。そして怪しい妖怪の影が!? いったい父の故郷で何かおこっているのか。みんなを助けるため時間をさかのぼり、暁彦の冒険が今始まった!

## 『絵で読む広島原爆』

那須 正幹／文 西村 繁男／絵 福音館書店  
生存者の証言をもとに再現された、広島町と、そこに暮らす人々の様子が描かれている絵本。絵には細かい解説がついており、当時の様子がよくわかる。また核兵器や放射線障害など『核』についての基本的な知識を織りこまれており、資料としても活用できる。教科書よりも一歩踏み込んだこの絵本で、『戦争』や『平和』、『核問題』について考えてみてください。

## 『あの花火は消えない』

森島 いずみ／著 丹地 陽子／絵 偕成社  
母親の長期入院で祖父母と暮らすことになった小学5年生の原口透子。そこのはなれに「ばんちゃん」とよばれる自閉症の青年が引っ越してくる。彼は絵が得意でなぜか海の近くの坂道ばかりを描いている。そんなばんちゃんに興味を抱きはじめる透子。彼女もまた、現実世界に自分の居場所を探し求めている。

## ホーキング博士のスペース・アドベンチャー 『宇宙への秘密の鍵』『宇宙に秘められた謎』『宇宙の誕生』

ルーシー・ホーキング／作 スティーヴン・ホーキング／作  
さくま ゆみこ／訳 佐藤 勝彦／監修 岩崎書店  
科学嫌いの家庭に生まれた少年ジョージ。ある日、不思議な親子と特別なコンピューターが隣に引っ越してきました。親子と一緒に様々な事件に巻き込まれるうちに、科学の楽しさや宇宙の謎に触れ、ジョージの世界は広がっていきます。ジョージと一緒に宇宙を冒険しにきませんか! 全3巻。続編もあります。



小川町立図書館